

第7号

「自律」「協働」「対話」

令和8年度 長崎市立横尾中学校 学校だより

しなやか

しなやかに挑戦
できないと挑戦をはじめから諦め
ず、どう工夫し、どう改善すればい
いか柔軟に考え、対応していくこと

R 8 . 7 . 1 7 発行
校長：角 厚作

令和8年度 1学期終業式

本日の終業式で生徒たちに次のような話をしました。

今日で一学期の締めくくりを迎えます。何より嬉しいのは、全校生徒98名が大きな事故なく元気にこの日を迎えられたことです。新しい環境でスタートした4月から、皆さん一人ひとりが本当によく考え、動き、充実した日々を積み重ねてくれた成果です。

春に伝えた「自分で考え、仲間と対話し、自ら行動できる人になってほしい」という願いに対し、皆さんは素晴らしい「自律」と「協働」の姿で応えてくれました。

特に五月の体育大会では、スローガン「一心入魂」のもと、全員が主役となって本気で体現してくれました。準備期間の衝突や悩みから逃げずに対話を重ね、全員が納得できる解決策を導き出したプロセスがあったからこそ、本番では九十八色の個性が鮮やかに輝き、見る人の心を揺さぶる感動が生まれたのです。

また、総合的な学習での「探究学習」でも主体性が光りました。長崎外国語大学の先生や留学生との交流、生徒総会での地域や外大との連携を考え直す姿に、地域の方々からも多くの褒め言葉をいただきました。

また、一学期は「単元テストへの移行」や「チーム担任制」など、皆さんの自律を支える新しい挑戦も始まりました。戸惑いながらも、放課後に友だち同士で教え合ったり、積極的に質問したりする姿があり、「評価されるための勉強」から「自己の成長のための学び」へと、主体的な姿勢へ確実に変わりつつあります。

明日から45日間の長い夏休みが始まります。学校という枠を離れ、子供たちの自律の力が試される時です。指示を待つのではなく、「今日という一日をどうデザインするか」を自分で決めるタイムマネジメントを実践してほしいと思います。

また、時間がある今だからこそ「新しい挑戦」を恐れなくてください。失敗してもやり直せます。読書、地域のボランティア、興味のある研究など、自分で決めた未知の領域へ一歩を踏み出す挑戦が、皆さんを大きく成長させます。

最後に、大切にしてほしい「徳を積む」という心のあり方を伝えます。

先日、ある芸人さんが「徳を積む」大切さを語っていました。誰も見ていなくても信号を守るなど、ずるいことをしない生き方は、自分に自信を与え、気持ちを楽にしてくれます。「徳を積む」とは、落ちているゴミを拾う、家族に感謝を伝えるなど、見返りを求めない小さな善行の積み重ねです。誰かのために心を配る小さな徳は、巡り巡って自分の心を豊かにし、自分を助ける力になります。

9月1日、一回り大きく成長した皆さんと笑顔で会えることを楽しみにしています。命を大切に、安全で充実した夏休みを過ごしてください。

と、話しました。

保護者の皆様、一学期の間、本校の教育活動への温かいご理解と多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。皆様の支えのおかげで、子どもたちは日々の学習や行事に全力で取り組み、大きく成長することができました。

明日からいよいよ、40日余りの長い夏休みが始まります。学校を離れ、ご家庭や地域で過ごす時間が長くなるこの時期は、子どもたちにとって普段できない体験に挑戦する絶好の機会です。それと同時に、生活リズムの乱れや水の事故、SNS のトラブルなど、安全面への配慮も必要な時期となります。

是非、ご家庭でも、健康的な生活習慣を保ち、「命」と「安全」を最優先に過ごせるよう、温かい見守りとご指導をお願いいたします。

二学期の始業式、一回りたくましく成長した子どもたちと笑顔で再会できることを、教職員一同、心より楽しみにしております。

横尾っ子の心を見つめる
教育週間の様子



道徳公開授業



講演(水野恭伸先生)
「鼻と口を正しく使う
超睡眠法」

教育週間中、たくさんのご参観ありがとうございました。